

## これまでにがんの手術前後でリハビリを受けた患者さんへ 【過去の治療データの調査研究への使用のお願い】

東近江総合医療センター リハビリテーション科では「手術療法を受けるがん患者の術前後におけるバランス能力の変化について-フレイルに着目して-」という臨床研究を行っております。フレイルとは、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなる等、年齢を重ねることで生じやすい衰え全般を指します。また、適切な運動や食事指導により改善が期待できる状態とされています。この研究はがんの手術療法を受けられる患者様に対して、より安全に医療を受けていただくための、適切な転倒リスク評価を検討することを目的としています。そのため過去にがんの手術療法の前後でリハビリを受けた方のカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

- ① この調査研究は東近江総合医療センター倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。  
研究期間：倫理委員会承認日 ~ 2023年1月31日まで  
対象調査期間：2022年1月01日 ~ 2023年1月31日まで
- ② 今回の調査研究の対象はこれまでにがんの手術前後にリハビリを受けた患者さんのカルテデータです。  
情報：病歴、治療歴、年齢、性別、身長、体重、血圧、血液尿検査データ 等
- ③ 外部への試料・情報の提供  
ありません
- ④ 過去のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。
- ⑤ 使用するデータは個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。
- ⑥ 調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。
- ⑦ 調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は東近江総合医療センターに帰属し、あなたには帰属しません。
- ⑧ この調査研究は、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の連絡先まで連絡ください。その場合でも同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

東近江総合医療センター リハビリテーション科 理学療法士

研究責任者：梶川 美紅

TEL:0748-22-3030(代) FAX:0748-23-3383(代)